

いのちを守る訓練

3日(火)1限後の休み時間に、抜き打ちで地震想定避難訓練を行いました。地震はいつどこで起きるかわかりません。いざというときに備えて、「常在戦場」の心構えで瞬時にいのちを守る行動ができるようにしておきたいものです。(アラートなど緊急放送を静かに聞く・小さなゆれから数秒以内に机の下に入る、頭を保護するなどの行動をとる)

1時間目の学習が終わって、特別教室から戻る途中の子たちは、すばやく廊下に身を伏せて頭を守りました。



また、6日(金)の3限には、不審者が校内に侵入したという想定で訓練をしました。不審者に行動させないようにと職員はさすまたなどを手に対応しましたが、相手に力がある場合、簡単ではないことをあらためて認識しました。



協力していただいた豊川警察署の方からは「つ・み・き・お・に」の言葉で危険から身を守る方法を教えていただきました。いつでもどこでも危険をさけることを学びました。

また、2日(月)には、職員だけで救命救急講習会を豊川消防署の方を講師に行いました。水泳学習は今年度アイレクスで始まっていますが、万に備えて研修を深めています。

牛久保塾

10日(火)・11日(水)には3～6年生を対象に『牛久保塾』を行いました。講師は日本の野球バットの6割を生産している株式会社『白惣』の製造部長をされている岩瀬崇典さん。「HAKUSOH」ブランドのバットを大リーグに、世界に、と活躍されている方です。

岩瀬さんは「失敗なんてない。それはできないやり方を見つけたという成功」「やってみたいことにはどんどんチャレンジ」とご自分の経験からお話くださいました。



【子どもたちのふりかえり】

- ・私は岩瀬さんといっしょでパティシエになることが夢でした。岩瀬さんが言っていた「できない人はやらない人」の言葉をずっと心に置いておけば、私の夢がかなうかもしれません。
- ・どんなことにもチャレンジすることは、自分の将来につながるという大切なことだと思った。野球選手のために微調整をしたり、人のことを思ってやったりすることはすごくいいことだと思いました。
- ・私の夢は看護師になることなのですが、「私たいして頭よくないし、看護師のこと少ししか知らないし」とあきらめようとしていました。だけど今日の話を聞いて、「私もがんばろう」と思いました。これからいろいろなことに挑戦したいです。
- ・自分のやりたいこともそうだけど、反対に苦手なこともあきらめずに続けていくことで得意になれることが分かった。自分ではできなかったり、難しかったりするときに、得意な人の力を借りたり、みんなでやったりすることが大切だということが分かって、自分もみんなの力を借りていろいろなことをがんばろうと思った。



岩瀬さんは牛久保の牧野家の歴史を題材とした『渦巻いて』という時代小説も書かれています。

面白いです。牛久保にお住まいの方なら必読。マンガ版も発売されています。おすすめです！